

第2学年 音楽科

題材名 ようすをおもいうかべよう

教材名 人形のゆめと目ざめ (エステン 作曲/佐井孝彰 編曲)

単元(題材)の目標

楽曲の雰囲気の変化を感じ取りながら、イメージをふくらませて聴くことができる。
(知識及び技能)

曲想やその変化と、音楽の構造との関わりに気付きながら、曲全体を味わって聴く。
(思考力、判断力、表現力等)

場面の様子を思い浮かべ、曲の楽しさを見いだしながら、音楽全体を味わって聴くことに進んで取り組んでいる。
(学びに向かう力、人間性等)

指導のポイント

ピアノ曲としてもよく知られているこの曲は、人形が主人公となる標題音楽で、4分の3拍子の「子もりうた～人形のねむり」4分の4拍子になる「人形のゆめ～人形のめざめ」4分の2拍子の「人形のおどり」の場面からなる楽曲である。それぞれの場面において、拍子や速度、強弱など、音楽を形づくっている要素の変化を聴き取りやすい。各場面の様子を思い浮かべ、それぞれの場面の変化が特徴的なこの曲のもつ楽しさを見いだすためには、曲の雰囲気の変化や表情を感じ取って聴いたり、音楽がどのように形づくられているのかを捉えて聴いたりすることが必要である。

曲の楽しさについて考えをもち、曲全体を味わって聴くことができるようになるためには、鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、新たな知識を習得することと、これまでに習得した知識を活用することの両方が必要となる。体を動かす活動を取り入れたり、ICT等視覚的支援を取り入れたりしながら、興味をもって何度も音楽を聴かせることによって、音楽を形づくっている要素や仕組みを聴き取り、そのよさや面白さを感じ取らせたい。音楽とともに体を動かす活動は、音楽を聴き流さず「音楽と一体化」しながら、主体的に音楽と関わり、音楽の要素や仕組みを感じ取る手立てになると考える。

単元（題材）の指導計画

	児童の学習活動	指導上の留意点
1	<ul style="list-style-type: none"> ○「子もりうた」と「人形のゆめ」の部分を聴き、曲の雰囲気の変化を聴き取る。 ・変化を感じた理由を考え、発表して共有する。 ・共有したことを、曲を聴いて確認する。 ○人形の様子を表している音楽であることを知り、どのような様子を表している音楽であるかを想像しながら聴く。 ・曲想と音楽の構造の関わりについて気付く。 ○曲に四つの標題が付けられていることを知り、最初に聴いた場面の音楽の標題はどれかを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・曲名は知らせず、音や音楽に集中して聴かせる。 ・雰囲気の変化を感じた部分で拳手させたり、音楽に合わせて体を揺らしたりさせるなどして、児童が変化を感じ取っているかを捉える。 ・出された意見をもとに、繰り返し曲を聴かせ、変化した部分を捉えさせる。 ・聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考えさせる。 ・四つの標題を提示する。 ・始めに聴いた音楽が二つの場面からできていることを知らせ、聴き取ったことや感じ取ったことをもとに、どの標題かを考えさせる。
2 本時	<ul style="list-style-type: none"> ○前時に学習した二つの場面の部分を聴く。 ○曲全体の構成を感じ取る。 ・全曲通して聴く。 ・四つそれぞれの場面にどの標題が付けられているかを考える。 ○それぞれの場面の音楽に付けられている標題を確認する。 ○曲の雰囲気や表情、味わいと音楽との構造との関わりを捉える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・曲の雰囲気に合わせて体を動かす活動を通して、曲想や音楽の構造の変化に気付かせる。（音の強弱、曲の速度などねらいを絞って指示をする。） ・楽曲の構成を聴き取りやすくするために、ICTやペープサートなどを活用し、視覚的アプローチを行う。 ・標題をもとに、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考えさせながら、曲想と音楽の構造との関わりについて、児童が自ら気付くように指導する。 ・全曲を通して聴かせ、曲の部分的な楽しさを見いだすことに留まることなく、音楽の流れを感じながら、曲全体を味わわせる。

展開例（本時 2 / 2）

本時の目標		音楽の雰囲気の変化を楽しみ、音楽全体を味わって聴くことができる。うしんきょくのかんしょうをとおして「」「あ
導入	児童の学習活動	指導上の留意点
	<ul style="list-style-type: none"> ○前時に学習した二つの場面の部分を聴く。 ・音楽が表している人形の様子を思い浮かべながら、標題を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時で示した四つの標題を確認し、すでに聴いた部分の音楽から、標題を再度考えさせる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> それぞれのばめんの音楽をきいて、人形のようにすを思いうかべよう </div>		
展開	<ul style="list-style-type: none"> ○曲全体の構成を感じ取る。 ・全曲通して聴く。 ・四つそれぞれの場面にどの標題が付けられているかを考える。 ・個人やグループで考えた意見を発表し、全体で共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽に合わせて体を動かしたり、想像したことや感じ取ったことを言葉で伝え合ったりする活動を通して、友達の感じ方や考え方等のよさに気付いたり共感したり、自分の感じ方や考え方を広げさせる。 ・ICTやペープサートなどを活用し、視覚的アプローチを行い、曲の構成を捉えやすくする。 ・興味をもって音楽を聴き深められるように、全体で出た意見について、繰り返し音楽を聴いて確認していく。
	<ul style="list-style-type: none"> ○それぞれの場面の音楽に付けられている標題を確認する。 ・曲を聴いて感じ取ったことが、音楽のどの部分から知覚できるか、言葉で説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・標題をもとに、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考えさせながら、曲想と音楽の構造との関わりについて、児童が自ら気付くように指導する。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ○全曲を通して聴き、曲の雰囲気や表情、味わいと音楽の構造との関わりに気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・曲の部分的な楽しさを見いだすことに留まることなく、音楽の流れを感じながら、曲全体を味わわせる。